仙台市医師会 http://www.sendai.miyagi.med.or.jp/ TEL022-227-1531

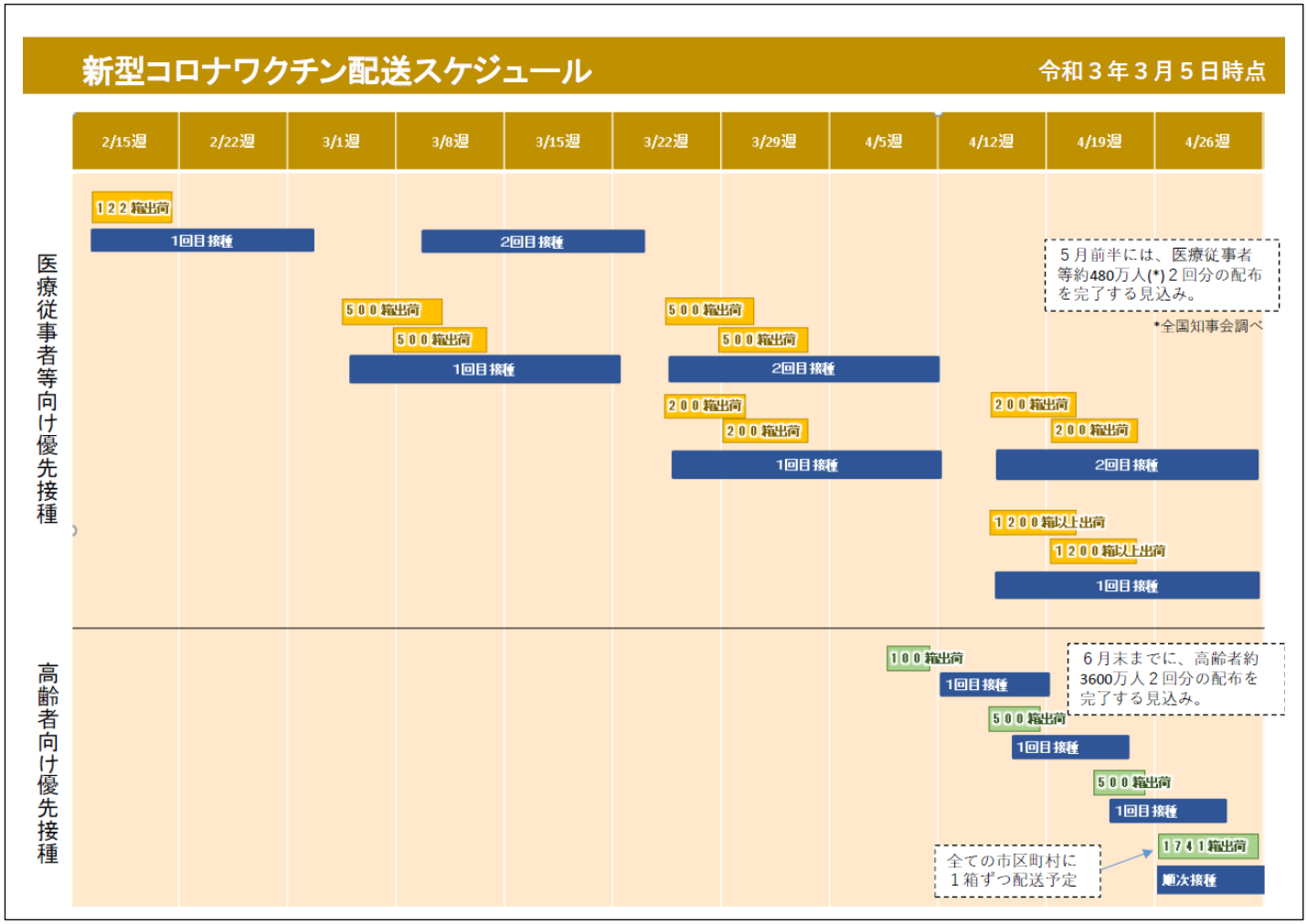
☆☆ 新型コロナウイルス感染症ニュース 第 58 号 2021.3.8 ☆☆

新型コロナウイルス感染症の患者さんは、年始の第 3 波から減少しつつあったものの、最近は下げ止まりからやや増加の兆しも見えております。首都圏の緊急事態宣言の延長も決定される状況下で感染拡大防止にワクチンの効果があることを切に期待したいと思います。

仙台市医師会では仙台市と協議しつつ、これまでワクチンが供給された際の受け皿として接種体制の構築準備を行ってまいりました。しかし最近の情報では、ワクチンの供給は予定よりはるかに少ない本数から始まることが確実で、今後接種体制の準備とともにワクチン接種の優先順位についての検討が必要になっております。

医療従事者等向け接種を実施するための新型コロナワクチンの出荷（第２弾）について （予告）

3 月 5 日付、厚生労働省健康局健康課予防接種室から出された通知です。



厚生労働省ホームページ内にワクチン供給に関する情報提供のページが開設されました。ただし、あくまでも、**「欧州の透明性メカニズムに基づく輸出の承認」などを前提**とした**見通し**とのことですので、ご注意願います。

＜新型コロナワクチンの供給の見通し（厚労省ホームページ）＞

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_supply.html

1V 当たりの接種人数について、大臣の記者会見発言では注射器の確保の状況から、3 月の医療従事者、4 月の高齢者優先接種では 1V あたり 5 回接種、その後に特殊なシリンジ一定量の確保の目途がたった段階で、一斉に 1V あたり 6 回接種に切り替えることを目指すとのことです。

仙台市でのワクチン接種の見込み

現在国の承認を受けたワクチンは**ファイザー社製のものだけ**であるため、現状ではこのワクチンだけを対象に計画が立てられております。

医療従事者等向け接種について、ワクチンは仙台市を通さず**県により配布**されます。先日第1陣のワクチン配布分16箱約16,000人分が、約2万人対象の感染症指定病院・協力病院に配布されました。3週間後に同数のワクチンが届く予定となっています。以降の接種予定として、県では**診療・検査医療機関の指定を受けた医療機関**約600弱の施設にまず接種し、その後ワクチン接種**対象者の数に応じて按分方式**で考えられているようです。医師会・歯科医師会・薬剤師会等への振り分けについては未定とのことです。ただし、供給が上記スケジュール通りであれば、5月前半には全ての医療従事者向けワクチンの接種は完了されることになります。

一般**高齢者向け接種**について、ワクチンは別枠で4月5日の週から国より出荷され、**県経由で仙台市から配布**される予定です。一部**医療従事者向け接種と並行**して開始されることとなります。しかし当初の供給量は非常に少なく、接種の優先順位はクラスターの発生を抑えることをまず目的として、接種券の準備などの状況を踏まえつつ、特別養護老人ホームなど高齢者施設等から行われることが検討されております。

集団接種会場について、土日祝の **20 会場程度を目処**に会場と人員の確保が検討されております。現状では当初見込まれた4月からの接種開始は困難と思われます。3月1日の仙台市からの発表で「接種会場候補として確保していた60ヵ所のうち、(15ヵ所は会場候補として確保して）残り45ヵ所を一般使用に開放する」とありました。これを受けて一部報道では「仙台市は集団接種会場として市民センター15か所を選定した」といった内容の報道が見られましたが、**接種会場は市民センター以外の施設も想定**されており、例えば仙台市医師会看護専門学校の使用も検討されております。

自院接種を行わない医療機関、一般市民の方のワクチン接種の**予約方法はまだ検討中**です。しかし、仙台市でコールセンターを開設しても全ての予約の一括管理は困難と思われております。まだワクチン供給スケジュールの確定しない中で、“予約”の準備も無理な状況ですが、接種実施の各医療機関での対応についてもご一考いただきたく、現状の報告とさせていただきます。

接種後、アナフィラキシーなどの**副反応に対する救急体制**についてです。現在仙台市では**“救命コール”**と呼ばれる仕組みが運用されており、「119番通報時点で、指令課員が傷病者の緊急度・重症度が高いと判断される場合に、救急隊の出動と同時に（指令課員が）医療機関へ収容を依頼し、(救急隊からの報告を待つことなしに）迅速に受け入れ医療機関を決定する」ことになっております。**救急要請時に“(予防接種後の）アナフィラキシー”と伝える**ことで、この制度の運用がなされることを仙台市、消防局と確認いたしました。搬送時の時間短縮を優先し、「救急搬送要請書の記入」「医師の同乗」は望まれつつも、必須とはなりません。

あとがき

新型コロナウイルス対策の強力な武器としてワクチンが期待されております。現状、発症予防効果はかなり期待されるもののなかなか供給されず、また扱いの困難さもあって運用は慎重に行われなければなりません。仙台市医師会一丸となってこの難局を乗り越えたいと思います。

（担当；福壽岳雄）

仙台市医師会へのご意見・ご質問等はFAX、メールでお願いいたします。

FAX：022-267-5193　　メール：sen-ishi@sendai.miyagi.med.or.jp